

巨大地震等対応防災拠点施設 設計仕様ガイドライン 講習会

開催： 建築研究開発コンソーシアム（CBRD）・科学技術工キスパート会議（STEM）共同開催

Summary

大地震・豪雨災害等の巨大災害時に災害対応の拠点となる防災センターや病院等の重要施設は地震後も継続して使用可能であることが求められます。これらの設計においては大地震時の損傷を認める最低基準としての建築基準法各規定だけでは不十分であり、より高いレベルの性能をもたらす「性能設計」の仕様が必要です。

国土交通省住宅局では「防災拠点となる建築物に係る機能継続ガイドライン」を令和元年（2019年）に、日本建築構造技術者協会（JSCA）では2017年【耐震性能編】、2021年【耐震性能（簡易法）】として「JSCA性能設計説明書」を発行し、継続使用を可能とする建築構造の条件を「普通級」「上級」「特級」の3段階で規定しています。ただし、これらの資料では建築物の機能継続を保障するインフラ、（通信、電気、ガス、上下水等）を含めた具体的仕様例については詳述されていません。防災拠点は建築物そのものが継続可能であっても、インフラが使用できないと実質的に機能を発揮することができないため、建築物と同様のクライテリアでインフラを継続可能とする仕様を規定する必要があります。

本ガイドラインは、「防災拠点となる建築物に関する機能継続ガイドライン」の項目に基づきながら、建築物のみならず、建築物の立地条件や機能継続を期待できるインフラ（通信、エネルギー、設備等）の詳細な仕様例を、復旧期間に基づく3段階のグレードごとに示した初めての具体的なガイドラインです。本講習会では、取りまとめられたガイドラインを配布し、その概要について紹介します。

Program

総合司会 貞許 美和 （日建設計）

13:00-13:10 開会あいさつ

13:10-14:10 本ガイドラインの背景と求められる防災拠点施設の機能
竹内 徹 （東京科学大）

防災拠点施設に求められるグレード

貞許 美和 （日建設計）

立地計画

村上 晴信 （建築研究所）

建築計画

五十嵐 信哉（竹中工務店）

休憩10分

14:20-15:20 構造計画（構造躯体および非構造部材）
小豆畑 達哉（建築研究所）

基礎計画および敷地内地盤

水谷 由香里（大林組）

設備計画（建物内給排水設備）

平田 裕信 （日建設計）

情報通信インフラ

鈴木 幹夫（NTTファシリティーズ）

休憩10分

15:30-16:30 エネルギーインフラ（電力）

濱田 直之 安西 尚（東京電力ホールディングス）

エネルギーインフラ（ガス）

杉岡 直紀（大阪ガス）

耐火計画

竹谷 修一（建築研究所）

計画例題

貞許 美和（日建設計）

16:30-16:55 質疑応答

16:55-17:00 閉会あいさつ

※登壇者およびプログラムは、都合により変更となる場合があります。

Information

日時

2025年
12月15日（月）13:00-17:00

場所

晴海トリトンスクエア Z棟 4階 BHCJ 講演室



開催形式 ハイブリッド開催

会場出席者には冊子版のガイドライン配布します

・会場参加 先着30名

・オンライン 制限なし

参加費

会員 …無料

非会員… 3,000 円(資料 2,000 円含む)

参加方法

■申込み締切： 2025年12月7日（日）※定員に達した時点

で締切

■申込：下記URLよりお申し込みください。

・会場参加：

<https://forms.office.com/r/trWcf18B62>

・オンライン参加：

<https://forms.office.com/r/MDcy8atYmq>

